

現代経済事情Ⅲ 世界経済と中小企業



第2回

2008年4月18日

高田好章



今日の富士山



今日の富士山:もう一枚



今週の田畑の育ち



車窓：浜名湖



京都・醍醐寺 五重の塔

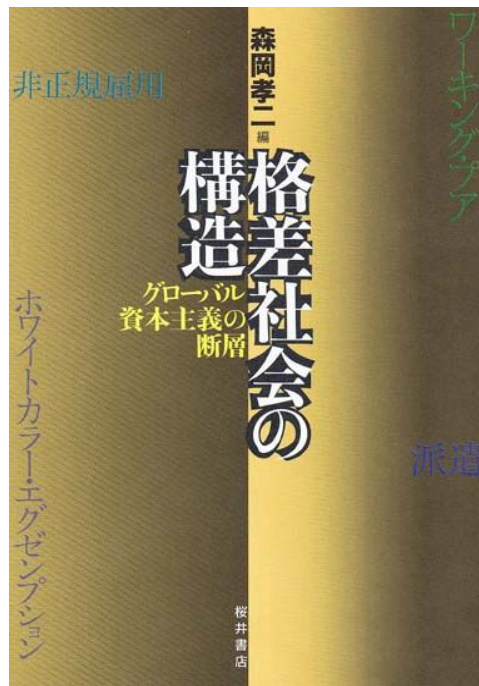


今週のテーマ

格差と貧困を考える

テキスト

序章 こうして拡大した格差と貧困



森岡孝二編著

『格差社会の構造

ーグローバル資本主義の断層』

桜井書店、2007年9月刊



ワーキング・プア[○]の増大：社会問題

- ・労働分野の規制緩和

 - 正社員の働きすぎ

 - 細切れ雇用：

 - パート・アルバイト・派遣・請負

 - 労働時間規制と適用除外：

 - ホワイトカラー・エグゼンプション

- ・アメリカでのワーキングプア[○]問題

- ・テレビ放映

ここまで拡大した格差と貧困

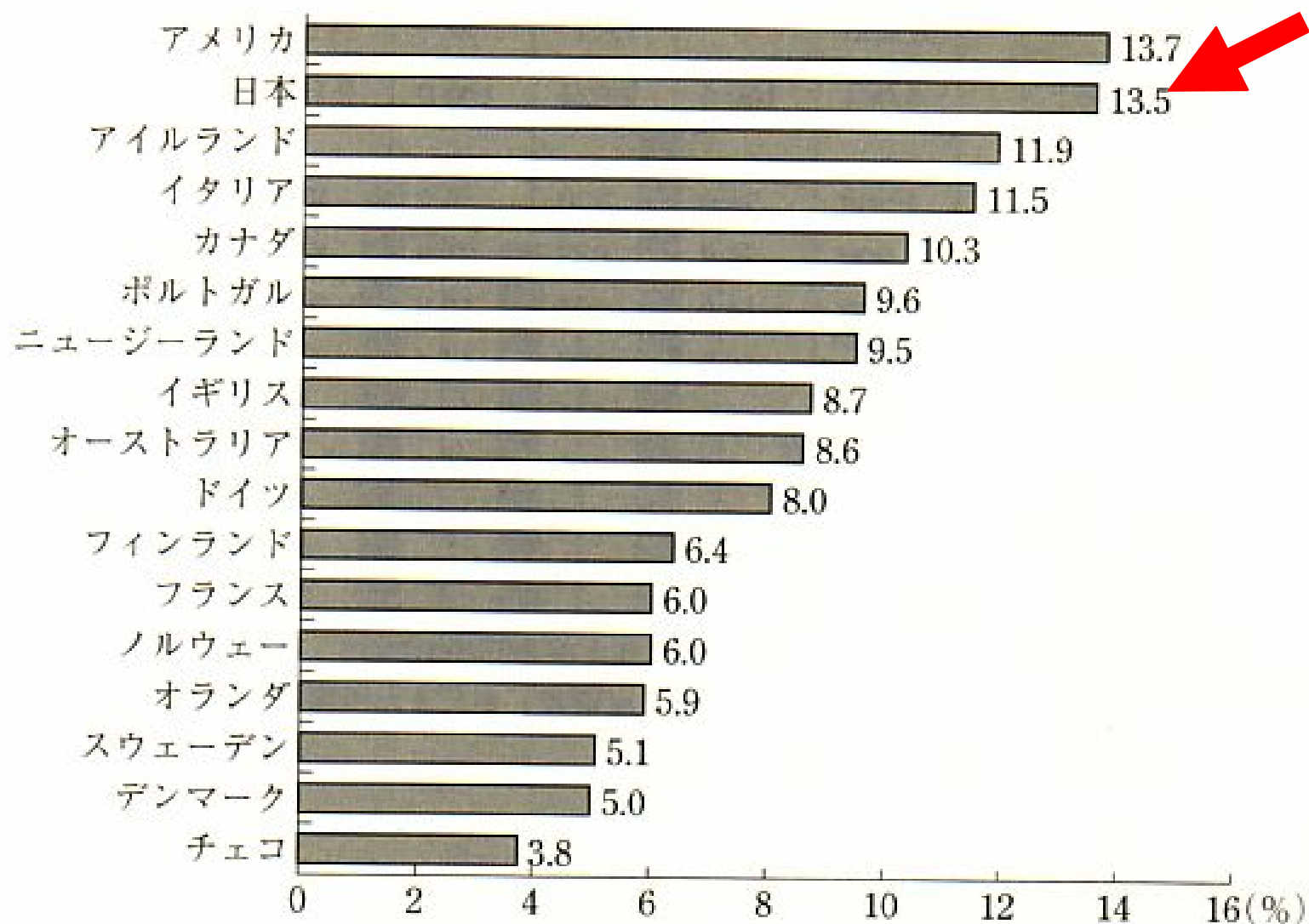
・OECD「対日経済審査報告」

相対的貧困率

日本：先進国17か国中、
アメリカについて2位



図 0-1 OECD 諸国の相対的貧困率



(出所) OECD「対日経済審査報告」2006年。日本の数字は2000年の厚生労働省「国民生活基礎調査」のデータから計算。

- 高齢化、労働市場における二極化の拡大
- 非正規雇用：
最近10年間に19%から30%以上に増大
- パートタイム労働者の時間賃金：
フルタイム労働者の40%
- 4人に一人が年収で150万円に満たず、
2人に一人が300万円に満たない



表 0-1 労働者の所得階層別分布

(単位：万人，%)

	男女計	%	男性	%	女性	%
全労働者	5,084	100.0	2,924	100.0	2,159	100.0
150万円未満	1,266	24.9	270	9.2	996	46.1
150～299	1,300	25.6	638	21.8	662	30.7
300～399	709	14.0	491	16.8	218	10.1
400～499	534	10.5	422	14.4	112	5.2
500～699	639	12.6	541	18.5	99	4.6
700～999	455	8.9	405	13.9	49	2.3
1,000～1,499	119	2.3	115	3.9	4	0.2
1,500万円以上	13	0.3	12	0.4	1	0.0

(出所) 総務省「平成14年版 就業構造基本調査」2003年。

(注) 労働者は「会社などの役員を除く雇用者」を、また所得は本業から通常得ている年間所得（税込み）をいう。

- 年収300万円未満：
「健康で文化的な最低限度の生活」(憲法25条)
さえ覚束ない。
- 年収300万円未満の雇用者世帯：18.2%



表 0-2 年収300万円未満の世帯数とその割合

世帯の区別	総数	100万円未満	100～199万円	200～299万円	300万円未満世帯の割合 (%)
総世帯	49,605,000	4,012,100	5,483,100	6,175,500	31.6
有業者世帯	34,644,700	832,800	2,306,600	3,694,700	19.7
雇用者世帯	29,058,300	557,700	1,773,100	2,971,300	18.2
無業者世帯	14,890,800	3,169,000	3,169,100	2,474,500	59.2

(出所) 表 0-1 に同じ。

- ・若年者における労働所得格差の拡大

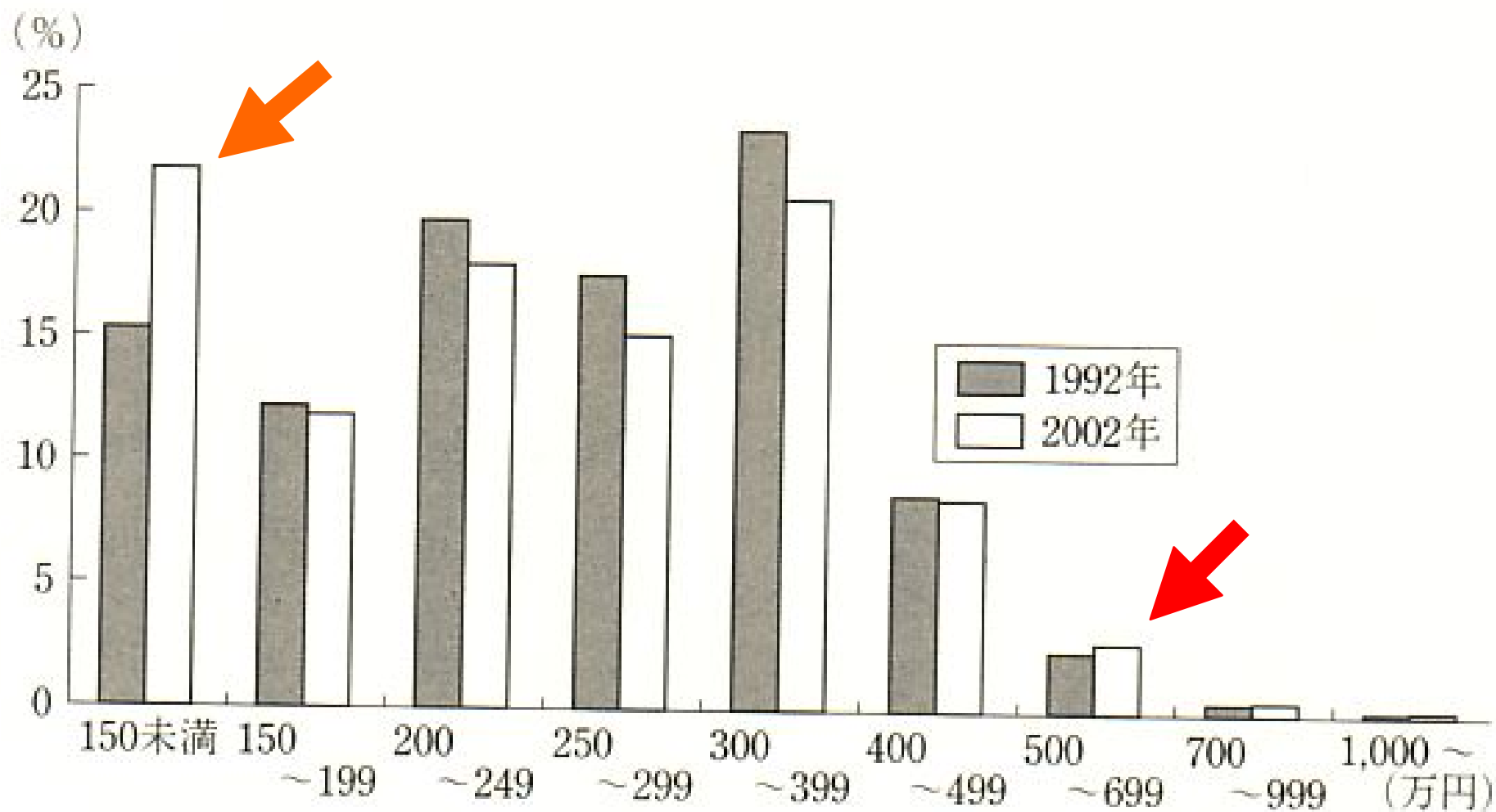
1992年と2002年に変化

150万円未満の割合増加、
500万円以上も増加

収入格差の拡大



図 0-2 20歳台の所得階級別雇用者割合の変化



(出所) 表 0-1 に同じ。

非正規雇用の増大と労働所得格差の拡大

- ・パートタイム労働者

時間が短い: 週35時間未満
単なる呼称

時給、ボーナス・諸手当無し、
社会保険無し、有給休暇などもなし

低賃金と劣悪な労働条件



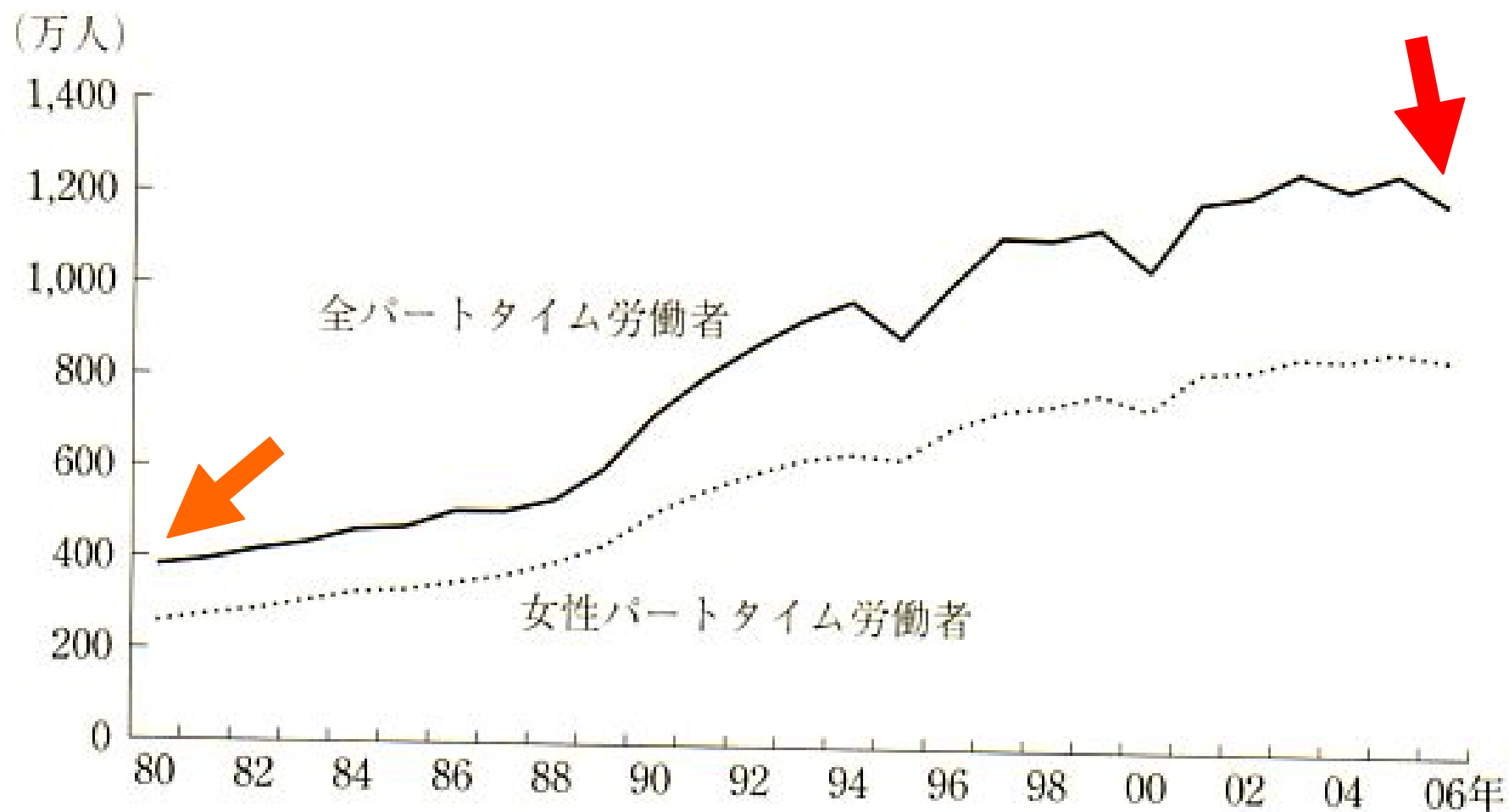
パート労働者

1980年 390万人 →

2005年 1266万人



図 0-3 パートタイム労働者数の推移



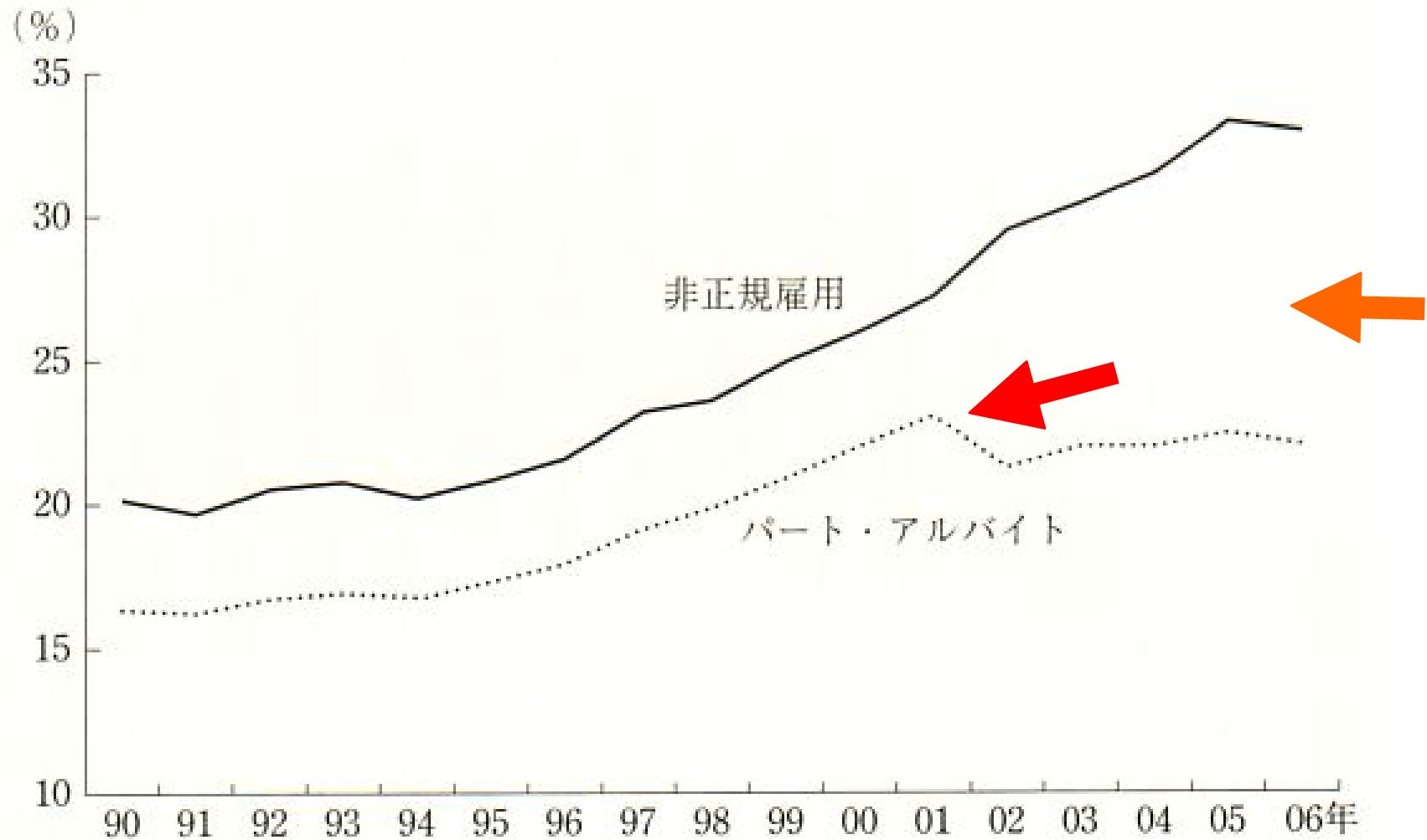
(出所) 「労働力調査」。

21世紀に入って、
パート労働者横ばい

派遣・請負・契約社員等、
パート以外の非正規労働者の増大



図 0-6 全労働者中の非正規労働者およびパート・アルバイトの割合



(出所) 総務省「労働力調査特別調査」(2001年以前) および「労働力調査詳細結果」(2001年以降)。

表 0-3 非正規雇用者とその構成

(単位：万人，%)



	労働者 総数	正規	非正規	パート	アルバ イト	派遣	契約・ 嘱託	その他	正規 比率	非正規 比率
男女	5,088	3,411	1,677	792	333	128	283	141	67.0	33.0
男性	2,894	2,375	517	79	168	49	150	71	82.1	17.9
女性	2,194	1,036	1,159	713	165	78	133	70	47.2	52.8

(出所) 2006年「労働力調査詳細結果」。

(注) 雇用形態の区別は勤め先の呼称による。

・賃金の格差

性別格差

時間当たり賃金:

男性一般労働者: 100

女性一般労働者: 70を下回る

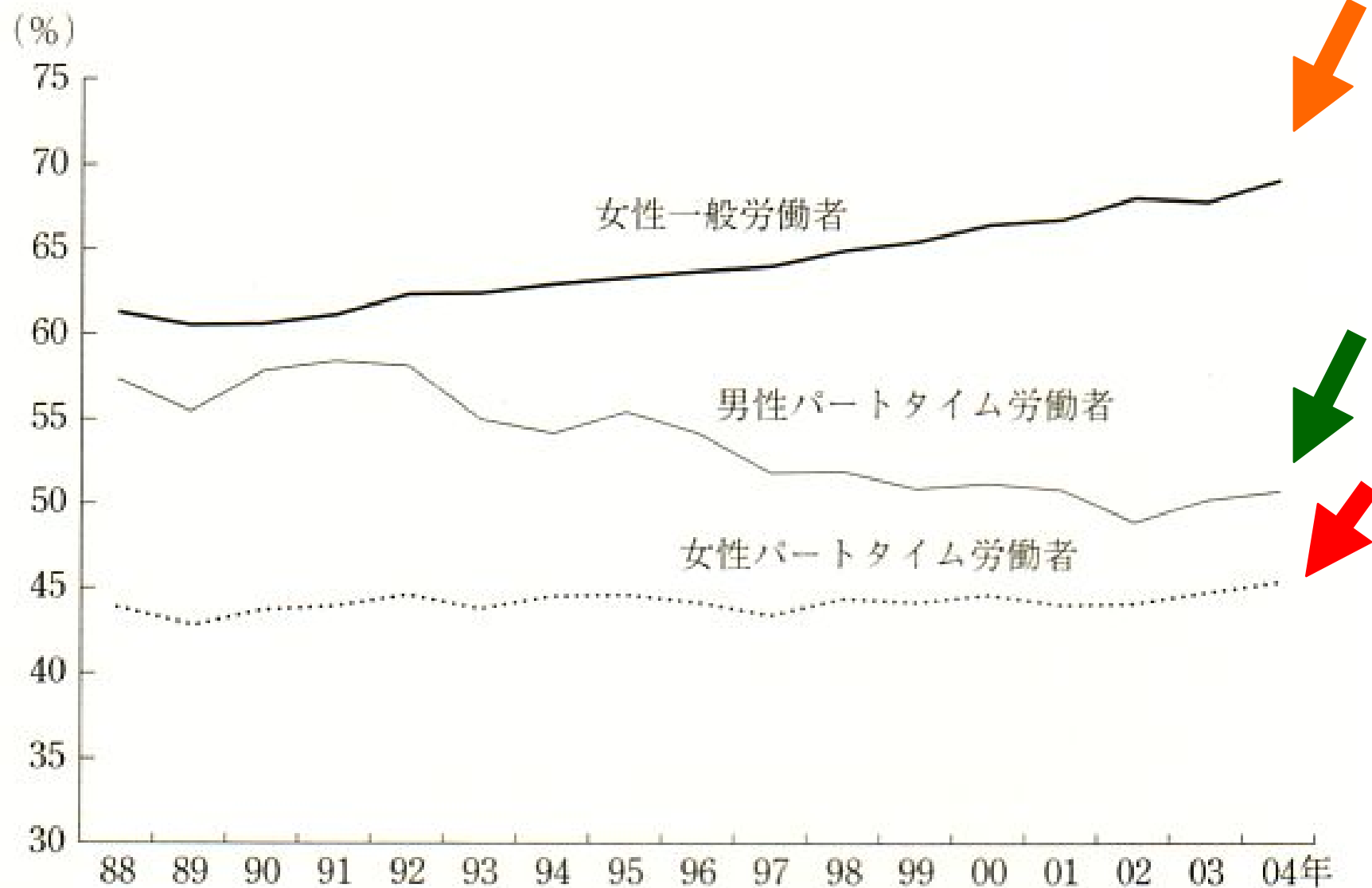
男性パートも下がっている:

50前後まで

女性パート: 43~45

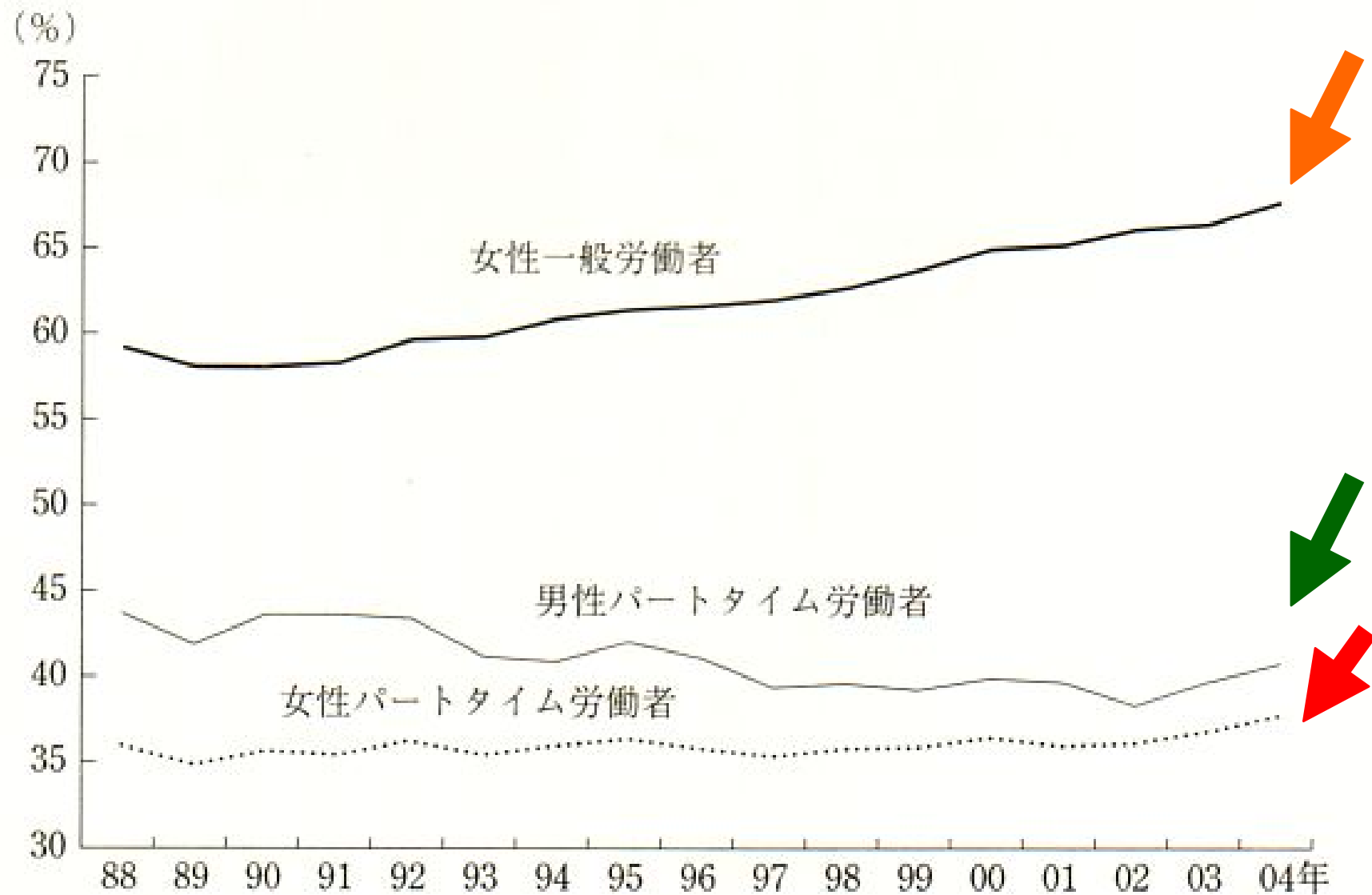


図 0-4 男性一般労働者に対する賃金格差（1時間当たりの所定内給与）



(出所) 「賃金構造基本統計調査」。

図0-5 男性一般労働者に対する賃金格差（年間賞与その他特別給与を含む）



(出所) 図0-4に同じ。



- ・雇用・労働の規制緩和と
派遣労働者の増大

職業安定法の規制緩和：
労働者派遣法の制定 1985年

全面規制緩和へ

日経連の「新時代の「日本的経営」」:



1995年

労働者をコアと周辺に分類

A: 長期蓄積能力活用型グループ:

長期雇用の正社員

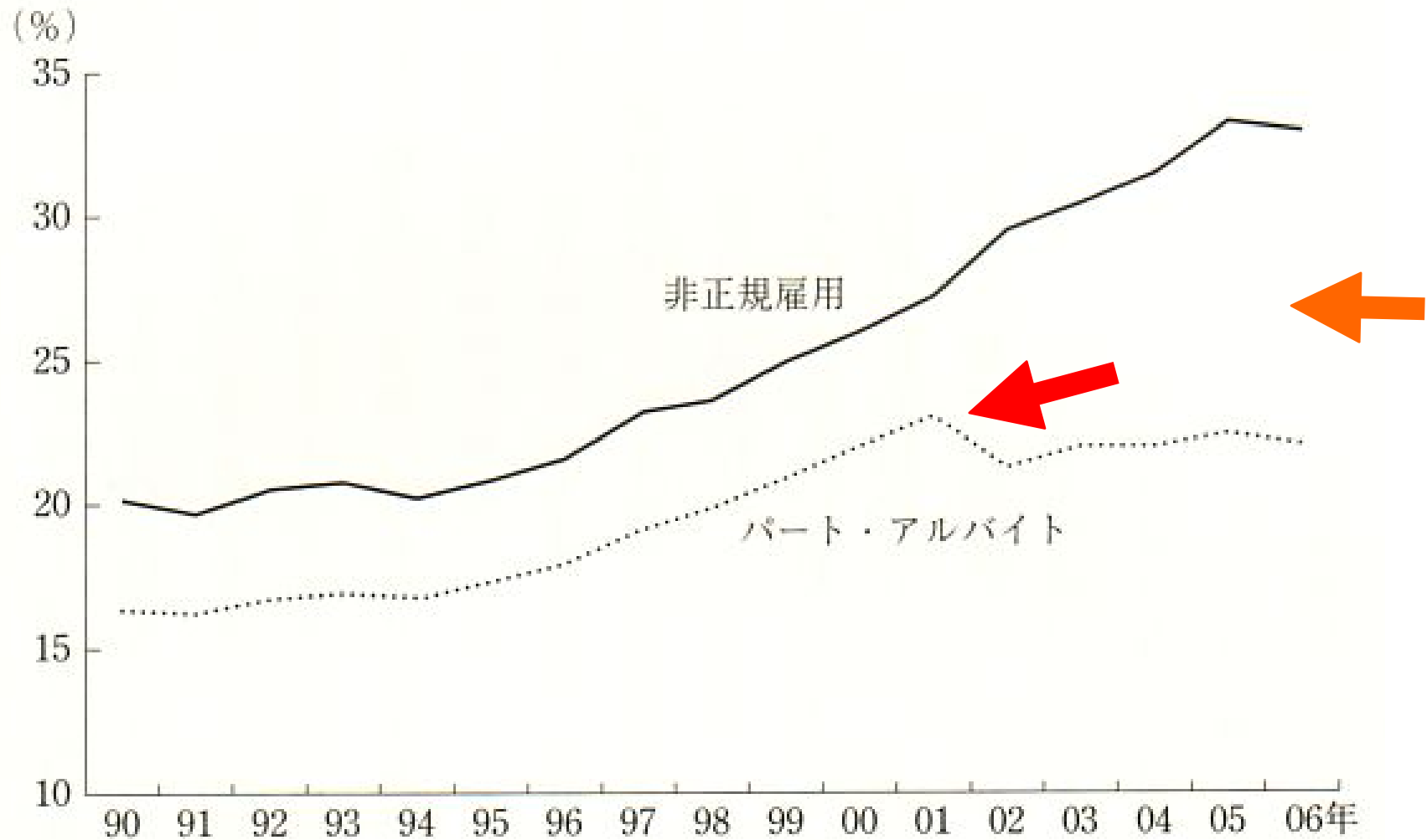
B: 高度専門能力活用型グループ:

有期雇用の契約社員

C: 雇用柔軟型グループ:

パート、アルバイト、派遣、請負など

図 0-6 全労働者中の非正規労働者およびパート・アルバイトの割合



(出所) 総務省「労働力調査特別調査」(2001年以前) および「労働力調査詳細結果」(2001年以降)。

表 0-3 非正規雇用者とその構成

(単位：万人，%)



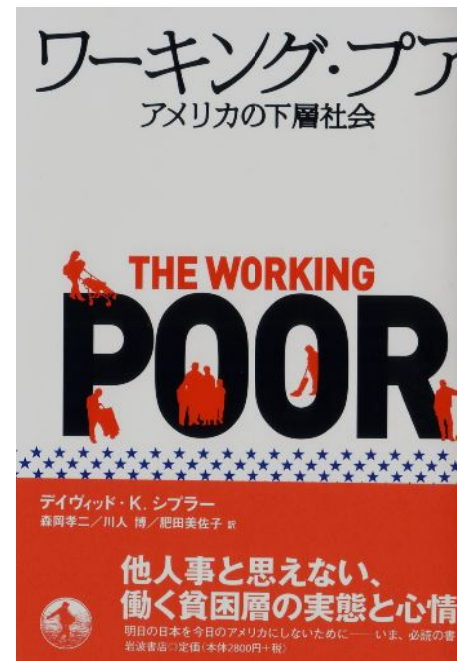
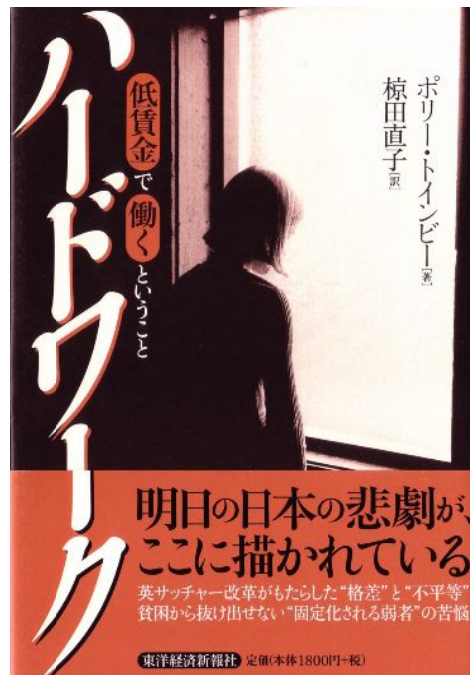
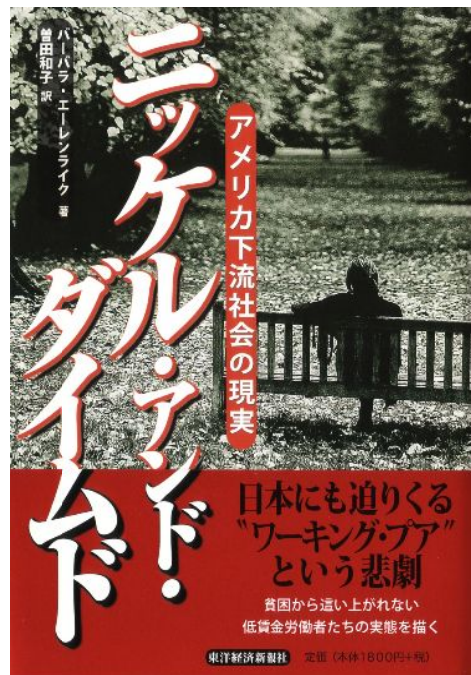
	労働者 総数	正規	非正規	パート	アルバ イト	派遣	契約・ 嘱託	その他	正規 比率	非正規 比率
男女	5,088	3,411	1,677	792	333	128	283	141	67.0	33.0
男性	2,894	2,375	517	79	168	49	150	71	82.1	17.9
女性	2,194	1,036	1,159	713	165	78	133	70	47.2	52.8

(出所) 2006年「労働力調査詳細結果」。

(注) 雇用形態の区別は勤め先の呼称による。

ルポ:

アメリカ・イギリスの状況
「ニッケル・アンド・ダイムド」
「ハードワーク」
「ワーキング・プア」

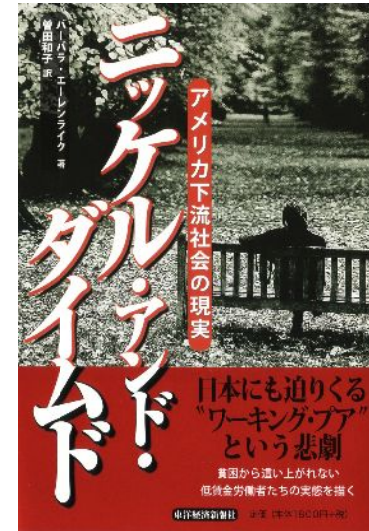


ニッケル・アンド・ダイムド

アメリカ

ニッケル:5セント

ダイム :10セント



「福祉から労働へ」の政策

生活保護受給者が働くことを義務付け

福祉の切捨て → より深刻な貧困へ

レストラン・掃除婦などで働いてみる

週7日休まず働いても

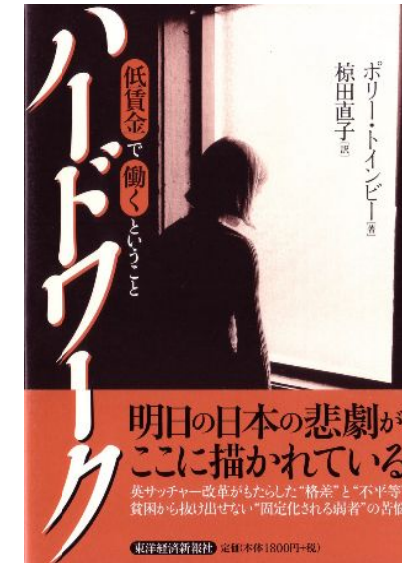
自分一人の生活を維持できない

ハードワーク

イギリス

公共部門の外部化

民間へ: 非正規化 低賃金
最低賃金で働いてみる



病院雑役係・給食助手などで働いてみる

多すぎる仕事量と安すぎる賃金 ハードワーク

「透明人間」: 見えない貧困、見えない仕組み

ワーキング・プア

アメリカ

底辺で働く人

貧困から抜け出すのは容易でない

貧困の悪循環 : カード破産

豊かな国アメリカの貧困

洗車係の男性は自分の車を持っていない

銀行で支払済み小切手をファイルする行員は

自分の預金口座に2ドル2セントしかない

医学の教科書の原稿を整理する女性は

10年このかた歯医者についていない

「貧乏でお金がかかるんでしょ」





新自由主義による経済再生戦略

市場個人主義→労働の規制緩和
→格差社会化の進展

資本のマーケット:

世界へ投資 金融マーケットの広がり

長期不況: 人員削減 労務費の削減

長期雇用環境からの脱却



今週のテーマ

格差と貧困を考える

終わり

今週の元気な企業と人



ソメスサドル

MiT 2008-05

今週の元気な企業と人



ソメスサドル

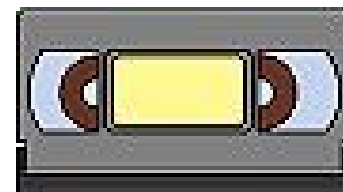
ビデオ鑑賞

街をさまよう若者たち
～新しい形のホームレス～

クローズアップ現代

NHK: 2007年6月12日放送

20分



現代経済事情Ⅲ 世界経済と中小企業

第2回 終わり

2008年4月18日

高田好章

